

# 野田市地震ハザードマップ<sup>保存版</sup>

**■ 地震ハザードマップとは**

日本は世界でも有数の地震国であり、千葉県では県南端の野島崎付近を震源とする元禄関東地震(1703年)、相模湾沖を震源とする関東大震災(1923年)等により甚大な被害を受けてきました。近年では、平成7年の阪神・淡路大震災、平成16年の新潟県中越地震、平成19年の新潟県中越沖地震等が発生しています。平成23年3月には東日本大震災が起こり、さらに南海トラフ地震などの発生も懸念されており、千葉県周辺で大地震が発生する可能性が高まっています。

過去に発生した内陸型地震における人的被害では、建物や家具等による死者が死者全体の多数をしめており、住宅の耐震化が急務となっています。地震による被害を最小限にとどめるために、住宅等の耐震改修を進めるなど日頃からの地震に対する備えが重要となります。

「野田市地震ハザードマップ」として、本市に最も大きな影響を与える地震を想定し、

- 地盤の液化化の可能性を示した「液化化危険度マップ」
- 想定される最大震度を示した「揺れやすさマップ」
- 最大震度での建物全壊の危険度を示した「地域危険度マップ」

を作成しました。

**■ このマップの利用方法**

市民の皆さん、今後、想定される大地震に対応していただけよう、自宅及びその周辺の地震対策に「野田市地震ハザードマップ」をご活用いただければと考えています。

この地震ハザードマップをもとに、以下の内容を確認してみましょう。

- 自宅、よく行く施設や場所、通るところの危険度
- 避難場所や避難するルート
- 家具の転倒防止等の屋内・屋外の地震対策
- 自宅の耐震性、耐震診断や耐震改修の実施状況

令和7年11月  
野田市危機管理部危機管理課  
電話:04-7136-1779(直通)

■ 野田市のホームページでもご確認いただけます。  
<https://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/anzen/bousai/1000323.html>

**■ 本市で想定される地震**

「地域危険度マップ」と「揺れやすさマップ」は、本市への影響が大きいと考えられる下表に示す4つの地震を想定しました。

地震のタイプ	活断層で発生する地震	プレート境界で発生する地震	全国どこでも起こりうる直下の地震				
想定される地震	野田伏在断層による地震 (マグニチュード 7.0)	東京湾北部地震 (マグニチュード 7.3)	茨城県南部地震 (マグニチュード 7.3)	野田市中央直下の地震 (マグニチュード 6.9)			
地震の概要	本市の南西には、厚い沖積層で覆われた活断層が確認されています。しかし、地表で観察することができないため、最後の地震が発生した時代はわかりません。このため、今後もいつ発生するか予測することが困難です。地震が発生すると、市内の広い範囲で震度6強となり、特に断層に近い市の南部や河川沿いの地域では強く揺れることが予想されます。	近い将来、関東地方南部のいずれかで起こる可能性の高いブレート境界の地震のうち、東京湾北部に震源をおいたマグニチュード7級の地震です。地震が発生すると、河川沿いの低地で震度6弱、台地で震度5強となることが予想されます。	近い将来、関東地方南部のいずれかで起こる可能性の高いブレート境界の地震のうち、茨城県南部に震源をおいたマグニチュード7級の地震です。地震が発生すると、市内の広い範囲で震度6弱、一部地盤の良い地域では震度5強となることが予想されます。	活断層のように地震発生の可能性の目がない所を震源とする地震が発生することがあります。このような地震による揺れ方を推定するために、本市の中央直下を震源とする地震を想定しました。地震が発生すると、河川沿いの低地で震度6強、台地で震度6弱となることが予想されます。			
本市で予想される震度							
震度階級	震度5強	震度6弱	震度6強	震度6強			
計測震度	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0	6.1	6.2	6.3	6.4

**■ 地震への備え**

手軽で有効な地震対策は、家具の転倒・落下を防ぐ対策と、家の周辺のブロック堆積点検・補強などの安全対策です。普段から家の内外を点検して、地震対策を進めておきましょう。

**■ 室内の安全対策**

**■ 家具転倒防止のチェックポイント**

1. 寝室や避難経路となる場所に大きな家具・家電を置かないようしましょう。  
2. 重い物は下収納し、軽い物を上部に置くようにしましょう。  
3. 大型の家具・家電は、転倒防止金具で固定しましょう。  
4. 棚は飛行物防止にストップバーを取り付けましょう。  
5. 整理、整頓し、ガラスには飛散防止フィルムを貼りましょう。  
6. 5歳以下の子供の方、障がい者のいる世帯の方は家具転倒防止器具を無償貸付しています。(金具1個を1組として、世界5組まで)  
【問い合わせ先】障がい者支援課 電話:04-7133-1092(直通)

**■ 建物の耐震化**

地震に弱い建物は、自己や家族の生命・財産を守るうえで非常に大きなリスクであるばかりでなく、地震により建物が倒壊し、道路を塞ぎ、救急・消防活動の大きな障害になります。大地震はいつ起こるか予想することは困難です。地震に強い安全なまちづくりのために、耐震化に取り組みましょう。

**■ 恐ろしい家屋の倒壊**

地震による死亡の原因が多いのは、家屋の倒壊や家具の転倒による「窒息・圧死」であり、阪神・淡路大震災での死者の約80%を占めています。

【阪神・淡路大震災調査報告 総集編】  
阪神・淡路大震災調査報告 総集編委員会  
(2000) 厚生省大臣官房統計情報部  
『人口動態統計からみた阪神・淡路大震災による死の状況』(1995.12) より作成

木造建物被害例 阪神・淡路大震災の死亡原因

**■ 木造建物耐震化チェックポイント**

ご自宅の耐震性について確認してみましょう。

- ① 建てたのは昭和56年(1981年)5月以前である。
- ② 過去に浸水、火災などに見舞われたことがある。
- ③ 壁や基礎にひび割れがある、傾いているのがわかるなど老朽化している。
- ④ 建物の平面の形状や、偏って大きな窓があるなど耐震性に問題がある。

あなたの生命・財産を守るために、  
住宅・建築物の一部、または全部の耐震化が急務です。

## 液状化危険度マップ

### ■ 液状化とは

地震により砂地盤を構成する砂粒子がばらばらになり、周辺が地下水で満たされた地盤が泥水となり、地盤の強度が弱まつたり、地盤の沈下が発生する現象です。



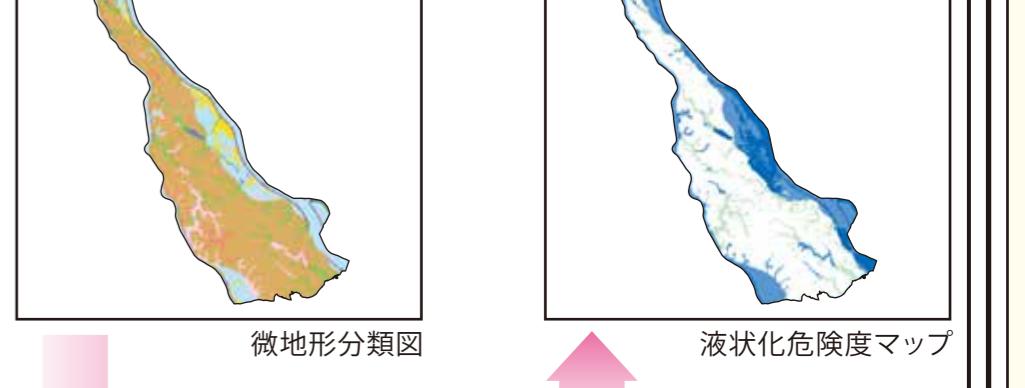
地震発生後  
噴水・噴砂  
地表面  
地下水位  
砂粒子の配列  
地震波  
砂粒子同士が「骨格」をつくり、自分の重さや上に載る構造物の重さを支えています。  
地震の揺れで砂粒子がばらばらになり、地盤が泥水になつて構造物が沈下するなどの影響を与えることがあります。

### ■ 液状化危険度マップができるまで

液状化危険度マップは、液状化地域ゾーニングマニュアル(国土庁防災局、平成11年1月)を参考に次の手順で作成しています。

① 本市の地形を地形分類にもとづき分類します。

② それぞれの地形に応じた液状化のしやすさを推定します。



地形分類に応じた液状化の可能性の判定	
地形分類	液状化の可能性
旧河川	非常に大きい
堤防(低地)	大きい
埋立地・干拓地	大きい
盛土地	大きい
自然堤防	大きい
デルタ・後背湿地	大きい
谷底平野	小さい
ローム台地	なしだ
堤防	なしだ
人工改変地	なしだ

※ 盛土地は状況により、危険度の区分が変わることがあります。

### ■ 凡例

	市役所・支所・出張所
	国 道
	県 道
	鉄 道
	市 町 界

### ■ 液状化危険度凡例

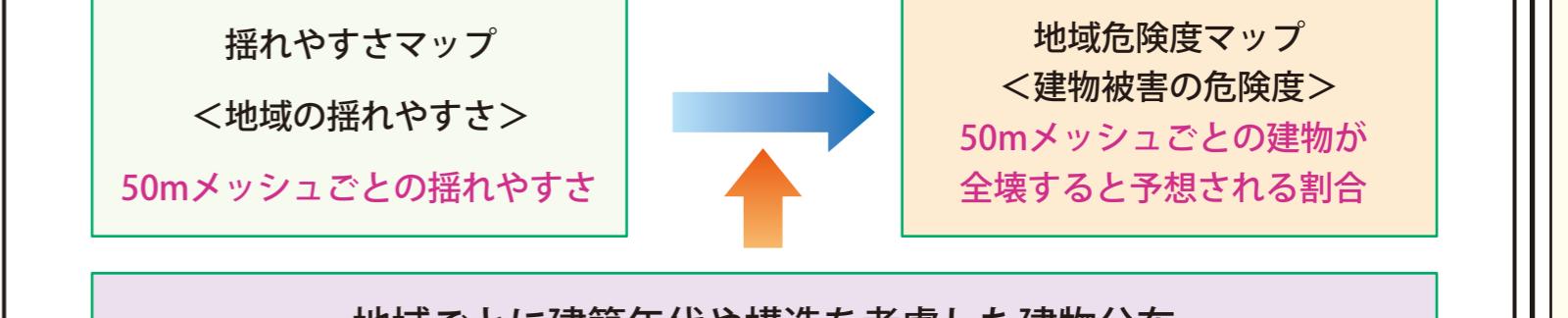
危険度	極大	大	小	無
液状化の可能性	非常に大きい	大きい	小さい	なし

## 地域危険度マップ

### ■ 地域危険度マップとは

大字ごとに分布する建物の建築年代や構造を集計し、その割合と50mメッシュ単位の揺れやすさをもとに全壊すると予想される建物の割合を表示したものです。危険度の数値が大きくなるほど地域で被害を受ける建物の割合が大きくなります。

「地域危険度マップ」は、地震防災マップ作成技術資料(内閣府、平成17年3月)を参考にして、次の手順で作成しています。



**■ 地域危険度マップ**

**■ 地域危険度マップとは**

大字ごとに分布する建物の建築年代や構造を集計し、その割合と50mメッシュ単位の揺れやすさをもとに全壊すると予想される建物の割合を表示したものです。危険度の数値が大きくなるほど地域で被害を受ける建物の割合が大きくなります。

「地域危険度マップ」は、地域危険度マップ作成技術資料(内閣府、平成17年3月)を参考にして、次の手順で作成しています。

**■ 摆れやすさマップ**

揺れやすさマップ  
<地域の揺れやすさ>  
50mメッシュごとの揺れやすさ

**■ 地域ごとに建築年代や構造を考慮した建物分布**

**■ 地震による住宅など建物の損傷状況**

準半壊に至らない(一部壊損)	準半壊	半壊
居住が半壊又は半壊に準する程度の損傷で、補修を必要とする程度	住家が半壊又は半壊に準する程度の損傷で、補修を必要とする程度	居住のための基本的な機能の一部を失った状態で、経済的な損傷の割合が10%以上20%未満
相当規模の補修を行わなければ、住宅に居住することができない状態で経済的な損傷の割合が30%以上40%未満	大規模な補修を行わなければ、住宅に居住することができない状態で経済的な損傷の割合が40%以上50%未満	居住のための基本的な機能を失った状態で、外壁や柱の傾斜が1/10以上または経済的な損傷の割合が50%以上、住宅の全体もしくは一部の階が全て倒壊

出典: 内閣府 災害の住家の被害認定基準運用指針

**■ 凡例**

市役所・支所・出張所  
国道  
県道  
鉄道  
市町界

**■ 地域危険度凡例**

危険度	危険度1	危険度2	危険度3	危険度4	危険度5	危険度6	危険度7
地域内の建物の中で全壊する建物の割合	3%未満	3%以上5%未満	5%以上7%未満	7%以上10%未満	10%以上20%未満	20%以上30%未満	30%以上

# 揺れやすさマップ



## 避難場所一覧

対象地区	名 称	所 在 地
関宿北部地区	関宿城博物館	関宿三軒家143-4
	関宿にこじこ水辺公園	関宿三軒家143-4
	関宿あおぞら広場	関宿町1396
	元町香取神社	関宿元町88
	下納谷浅間神社	関宿台町1006
	関宿公民館(建物)	関宿台町2558-1
	関宿中学校(校舎・体育館)	関宿台町2150
	関宿小学校(校舎・体育館)	関宿台町171
関宿中部地区	関宿中部幼稚園	桐ヶ作453-1
	アスク古布内保育園	古布内1527-13
	古布内淨禪寺	古布内1329
	アルフレッサフーム(建物)	西高野278-5
	二川小学校(校舎・体育館)	桐ヶ作464
	二川公民館(建物)	桐ヶ作51-1
	二川中学校(校舎・体育館)	桐ヶ作418
	関宿複合センター(建物)	木間ヶ瀬620
	いちいのホール(建物)	東宝珠花237-1
	関宿中央公民館(建物)	東宝珠花253-1
	関宿保健センター(建物)	東宝珠花260-1
	関宿中央小学校(校舎・体育館)	東宝珠花234-1
関宿南部地区	飯塚白山神社	木間ヶ瀬475
	(旧) 関宿南部幼稚園	木間ヶ瀬3197
	木間ヶ瀬保育所	木間ヶ瀬3152-1
	木間ヶ瀬中学校(校舎・体育館)	木間ヶ瀬3393-1
	木間ヶ瀬小学校(校舎・体育館)	木間ヶ瀬3640
	関宿バーグMOPS(関宿総合公園)	平井401
	木間ヶ瀬公民館(建物)	木間ヶ瀬2935
	関宿高等学校(校舎・体育館)	木間ヶ瀬4376
川間地区	U.S.S. 東京(建物)	中里2144-1
	川間小学校(校舎・体育館)	中里934
	川間公民館(建物)	中里720
	川間中学校(校舎・体育館)	中里136-1
	西武台千葉高等学校(校舎・体育館)	尾崎2241-2
	尾崎小学校(校舎・体育館)	尾崎1415
北部地区	北部中学校(校舎・体育館)	谷津673
	岩木小学校(校舎・体育館)	岩木二丁目12-1
	北コミュニティセンター(建物)	春日町16-1
	七光台小学校(校舎・体育館)	七光台20-1
	野田中央高等学校(校舎・体育館)	谷津713
	岩名中学校(校舎・体育館)	岩名1700
	北部公民館(建物)	谷津384
	北部小学校(校舎・体育館)	谷津25-1
中央地区	清水公園	清水1005
	旧専売公社跡地	清水246-1
	愛宕神社	野田725
	鹿島神社	中野台306
	キッコーマン野球場	上花輪404-1
	朝日ヶ丘公園	上花輪新町3-14
	東葛飾教育事務所 東葛飾研修所	柳沢53
	野田ガスホール(文化センター)	柳沢5-1
	イフマージュアーナ(総合公園)(体育館)	清水958
	清水高等学校(校舎・体育館)	清水482
	清水台小学校(校舎・体育館)	清水773
	第一中学校(校舎・体育館)	野田829-1
	中央小学校(校舎・体育館)	野田611
	柳沢小学校(校舎・体育館)	柳沢139
	宮崎小学校(校舎・体育館)	宮崎55
	第二中学校(校舎・体育館)	中根139
東部地区	東部公民館(建物)	鶴峯174-4
	東部中学校(校舎・体育館)	自吹1500
	東部小学校(校舎・体育館)	鶴峯220
	野田看護専門学校(校舎・体育館)	中根316-1
南部地区	南部中学校(校舎・体育館)	花井67
	南部小学校(校舎・体育館)	山崎1503
	南部梅郷公民館(建物)	山崎1154-1
	南コミュニティセンター(建物)	山崎2008
	山崎小学校(校舎・体育館)	山崎2733
	みづき小学校(校舎・体育館)	みづき3丁目2-3
	東京理科大学(校舎・体育館)	山崎2641
福田地区	福田第一小学校(校舎・体育館)	三ツ塙1372
	福田中学校(校舎・体育館)	三ツ塙782
	福田公民館(校舎・体育館)	瀬戸970-1
	ニツ塙小学校(校舎・体育館)	ニツ塙485-2
	福田第二小学校(校舎・体育館)	西三ヶ尾988
福祉避難所	くすのき苑	木間ヶ瀬3121
	千葉県立野田市特別支援学校	下三ヶ尾857-1
	野田芽吹学園	鶴峯147-1
	こぶし園	鶴峯88
	鶴寿園	鶴峯280
	楽寿園	鶴峯264
	松葉園	中里43-3
	椿寿の里	山崎2723-3
	ふれあいの里	野田1307-1

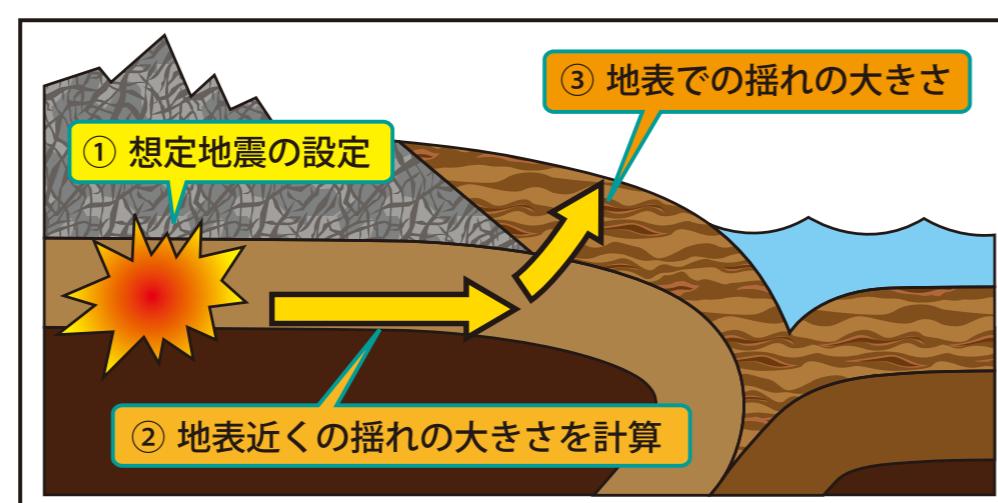
凡 例	
	避 難 場 所
	福 祉 避 難 所
	警 察
	消 防
	医 療 救 護 所
	國 道
	県 道
	市 道
	町 丁・大 字 界

## 「揺れやすさマップ」とは

市内の各地点ごとに、想定地震が起きたときに、考えられる最大の震度を表示したのが、「揺れやすさマップ」です。

### 作成手順

- 本市に大きな影響を与えることが予想される地震を選び、震源や規模などを設定しました。「本市で想定される地震」に示した地震について検討しました。
- それぞれの地震について震源からの距離と揺れの強さの関係を用いて、地表近くの硬い地盤までの揺れの大きさを計算しました。
- 表層の地盤の揺れやすさを加味して、想定地震ごとの震度分布図を作成しました。
- 想定地震ごとの震度分布のうち、その地域で最も大きな震度を採用して、揺れやすさを設定しました。



※「揺れやすさ」は、地震防災マップ作成技術資料(内閣府、平成17年3月)を参考にして、設定しました。

## 震度階級・計測震度

「震度」とは、地震の揺れの大きさです。

地震が起きたとき、ある場所での揺れの程度を示すのが震度です。これに対して、地震の規模を示す言葉がマグニチュードです。震度の決め方は国によって異なり、わが国では気象庁が定めた震度階級によって震度を表しています。震度には、身体に感じない地震の震度0から震度1、2、3、4、5弱、5強、6弱、6強、そして震度7までの10階級に分けて発表されます。

震度階級	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
計測震度	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0 [6.1] 6.2 [6.3] 6.4	6.5以上
人間	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	物につかまらないと歩くことが難しい。	立っていることが困難になる。	立っていることができず、はなないで動くことができない。	揺れにほんとうされ、自分の意思で行動できない。
屋内の状況	固定していない家具が移動することがある。不安定なものは倒れることがある。	固定していない家具が倒れることがある。	固定していない家具の多くが移動、転倒する。ドアが開かなくななることがある。	固定していない家具のほとんどが移動、転倒する。	固定していない家具のほとんどが大きく移動し、飛ぶものもある。
屋外の状況	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。
木造建物	耐震性の低い建物では、軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	耐震性の低い建物では、ひび割れ・亀裂がある。	耐震性の低い建物では、倒壊するものがある。耐震性の高い建物でも、壁や柱が破損するものがある。	耐震性が低い建物では、倒壊するものが多い。耐震性の高い建物でも、壁や柱がかなり破損するものがある。	耐震性が高い建物でも、傾いたり、大きく破損するものがある。

※計測震度は、震度で計測される震度です。※本市では、計測震度6.4以上は、想定されませんでした。

※気象庁震度階級関連解説表を参考にして作成

## 地震発生時の行動について

### ① まずはわが身の安全

- 近くにある丈夫なテーブルの下や物が倒れこない空間に身を寄せ、座布団などで頭部を保護しましょう。



!!あわててケガや火傷を負うと、揺れがおさまった後の避難等の行動ができなくなります。

!!地震に驚いて、階段から落ちてケガをする人もいます。

### ② 揺れがおさまったら

- ガス器具やストーブなどの火を消しましょう。
- すぐに動き回ると、食器やガラスの破片などでケガをすることがあります。靴などで足を保護し、周りの様子をよく見て、落ち着いて行動しましょう。
- 火が出たら、大声で隣近所に声をかけ、協力して初期消火につめましょう。
- 玄関などの脱出口を確保しましょう。
- 隣近所の安否を確認しましょう。
- ラジオや市の広報などから正確な情報を入手しましょう。



### ③ いざ避難

- 避難するときは、ガスの元栓をしめ、電気のブレーカーを切りましょう。
- 隣近所で声をかけ合い、助け合いながら避難しましょう。
- 避難は徒歩で、持ち物は最小限にとどめましょう。

!!自動車による避難は、消火・救助活動の障害となります。

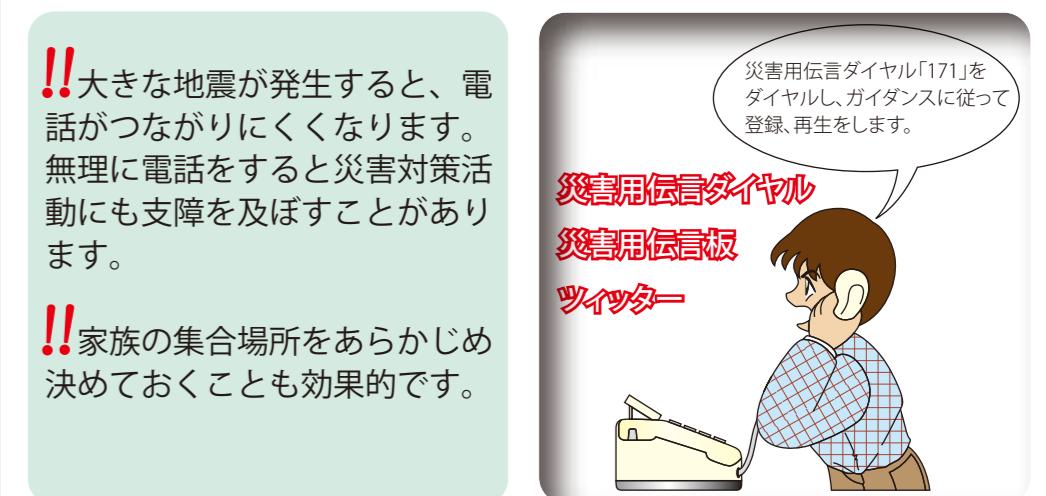
!!狭い路地や狭い場所、崖や川には近寄らないようにしましょう。

!!余震で瓦が落ちたり、塀が崩れたりします。



### ④ 家族や知人と連絡がとれないとき

- NTTの災害用伝言ダイヤル(171)や携帯各社の災害用伝言板を活用しましょう。



### ⑤ 自主防災組織の活動

自主防災組織とは自治会や町内会などの単位で結成されるもので、市民の皆さんが自主的に防災活動を行う団体のことをいいます。災害による被害を最小限におさえるためには、「自分たちの地域は自分たちで守る。」という考え方方が重要です。

#### 【平常時の活動】

災害に備えるために、地域の皆さんに防災に関する知識を普及するとともに、防災活動の必要性を理解してもらうための活動を行います。

- 地域内の安全点検
- 防災知識の普及と啓発
- 防災訓練

- 初期消火
- 情報の収集と伝達
- 避難誘導
- 避難所の運営
- 救出・救護
- 食料・飲料水の確保

## 震度・計測震度凡例

震度階級	震度6弱	震度6強
計測震度	5.5~5.9	6.0 6.1 6.2 6.3 6.4